

8月の生活表

2022年 8月

聖マリア幼稚園

年主題：つながって ～今、わたしを生きる～

月主題：祈りあう

・保育日数（20日 / 13日）

月目標：<3歳児>・いつでもどこにいても神様が共にいてくださることを感じ祈りあう。

・いつもとはちがう人との関わりや環境の変化を通して、興味関心が広がる。

・蝉の声、木陰の風の心地よさ、旬の野菜、果物の美味しさなど、夏ならではの経験をする。

（保）熱中症や感染症に留意し、水分や休息をとりながらゆっくり過ごす。

<4・5歳児>・神様が私たちにくださっている平和を知り感謝し、平和を作り出す

一人になれるように祈る。

・平和に関する話を聞いたり絵本を見て、心を動かし、できることを考える。

・ゆったりと穏やかに落ち着いて暮らす。

（保）共に考え合う中、愛されていることや与えられているものに感謝することを大切にする。

さあ、明日から夏休み。そして長期の預かり保育（黄組）が始まります。この一学期間、保護者の皆様には、多方面にわたり数々のご理解・ご協力を賜りましてありがとうございました。改めて御礼申し上げます。一学期間で当園を離れられた（る）お友だちがあり寂しい限りです。でも、様々なツールを用いてどこからでも繋がりが合うことができます。そして繋がりたい、繋がろうと思った時には必ずその相手のことを考えている、心に留めているということでしょう。そんな時、きっと子どもたちの心の中には、相手を想う「祈り」が芽生え、定着しているに違いありません。この4月より毎日、少なくとも3回は祈りを捧げ神様とお話をして来た子どもたちですから。 今月はちょっとフレーベルの恩物に触れてみます。今改めて「遊び」の重要性が見なおされています。勿論です。この幼児の遊び＝遊戯はすでにフレーベルが唱えて来ていることです。遊ばせつつ導くこと、遊戯をもって指導する。幼児の生命を保有する道は主として遊戯である。遊戯とは、幼児が自己の内界を自ら自由に外界に表現したもの、内面に持っている自発活動中の萌芽を発展させるもの。＜でも自由遊びで一人の先生が把握できる人数って？＞それが恩物（設定保育で使っています）という教育玩具の考案に結び付けられたのです。神によって生命が与えられ、神がその本質の中に働き、その働きに最も純粋な姿を有しているのが幼児である万物には共通な神性が宿り、その自発活動により子どもの無限に伸びゆくべき力が宿っている。そして、フレーベルは「自然は人間を教育する」と解き、恩物を通して宇宙を知らせ、神を知らせるための教育的遊具である。としています。神のごとく、創造する創造力を覚醒させるというものへと繋がる。ごく一部の抜粋です。なぜ、記載してみようと思ったのか。先日配布しました深谷先生の当園にまつわる記事の中にある先達が書かれているフレーベルの教育についてお知らせしたかったからです。今は恩物の名前は知っているが？というのが現状の幼児教育界です。恩物と手技を合わせて20の教育玩具。その使い方のアレンジで様々なねらいが見えてきます。保護者の皆様にも参観で共に楽しんで頂くと見えて来ます。観て下さい。幼児教育の大切な根源を。

《チャレンコーナー》

<月聖句>

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

(テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5：16)

高校の時、英語の先生で、アメリカから来られた方がおられました。その先生は、宣教師として来日し、その後、教師になられたとのことでした。ある時、この聖書の箇所を挙げて、次のように言われました。「わたしはいつも、心の中で、“Father,thanks.Amen”と唱えている。そうすると、いつも明るく、元気に、前向きに過ごすことができる。」その言葉を思い出す度に「すごいなあ」と思います。この言葉はいつも、私の心の片隅に引っかかっているのですが、私はなかなか実行できずにいます。

「神様、ありがとう！」と言うよりも、私の口を突いて出るのは、「ああ、疲れた。しんどいしんどい」というような言葉ばかりです。そんな言葉を口にするたびに、体も心も、余計に疲れるような気がします。

子どもたちは、いつも喜んでいますし、絶えず大好きな家族やお友達のために心を配っていますし、小さなことでも感謝しています。もちろん子供も、疲れることや機嫌の悪い時もあります。けれども、それは調子の悪い時で、調子が良くなれば、すぐに笑顔と優しさに戻ります。

大人の体は、時間の経過と共に老化します。心も落ち込みがちになります。だから、意識して心を上向きにしなければなりません。放っておいて、勝手に元気になるものではありません。子どもと向かい合い、子どもの話を聞いて、子どもと遊ぶとき、私たちにも笑顔が戻ります。じっくりと聖書を読んで、静かに神様にお祈りするとき、私たちの心に希望の灯がともります。喜びと祈りと感謝の生活は、私たちを神様の愛に導いてくれます。

おたんじょうび おめでとうございます

<生活指導>

☆夏休みも日々のお祈りを続けましょう。（一日一度で構いません）

- ・幼稚園でのお祈りの習慣を保てるようにしてみましょう。

家族はもとより、お友達やご親戚、また新聞やニュースで報道される内容などにも触れて、お祈りの時を持ってみましょう。

（寝る前が、一日を振り返りながら、心落ち着けてお祈りできそうですね。）

（ありがとう・ごめんなさい・お守りください・お願いします）の言葉を通して。

☆夏休み中の事故に気をつけさせましょう。

- ・歩行中・自転車乗車中・横断歩道を渡っている時・一人でお買い物に行く時・乗り物の乗降時・信号の確認・前後左右の確認を子ども自身に気付かせましょう。
- ・どんな時にも、いつでも周りの危険を感じ、俊敏な動きができるように、常日頃から心と身を鍛えましょう。

（外での体を動かす遊び＝縄跳び・ボール遊び・鬼ごっこ等）

☆心身共に健康で楽しい夏休みを過ごしましょう。

- ・一学期に身につけた生活習慣を崩させない様に気をつけてあげましょう。
- ・熱中症・感染症に気をつけ、自らでも取り組める方法にも気づかせましょう。
- ・酷暑の中、不要不急の外出は控えましょう。特に小さいお子さんのバギー、歩行等反射熱の被害予防、またプールは熱中症の落とし穴、特に気を付けましょう。
- ・汗をかいた後、自分でも気付くように、着替えもこまめに、暴飲暴食を避け、自分自身で身を守る術を親子でお考えましょう。

☆今年の夏！ 親子で何に取り組もうと計画されていますか？

- ・幼稚園時代だからこそ、たっぷり有る時間を有効に使ってみましょう。
- ・その一つに毎日一回は親子で向き合い、絵本・粘土・お絵描き・工作・近くの公園での鉄棒・滑り台（遊具も熱に犯されています！！ 気をつけて）などを通して、子供の成長を見つめてみましょう。
- ・子どもが自信を持てる何かに取り組めるように、また最後まで根気よく取り組めるようなゆったりとした時間を十分に共有し、計画を立てて過ごしてみましょう。
- ・特に緑組は、宿題という課せられた課題なく過ごせるのも、今年限り？ ですね。大いにお楽しみ下さい。思い出作り(この遊びを通して何を経験させたいのか?)に、子どもさんの意見も取り入れて考えましょう。

<クラス便り：各担任より>

<花組>

「みなさま、ようこそ！おいでくださいました！」花組の可愛い二人のお友達が最初のご挨拶のお役を担ってくれました。沢山のお客様（お家の方々）をお招きして第三部のゲーム大会まで開催出来たということ、本当に嬉しく、ご理解とご協力を賜りました保護者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

9名の可愛い花組の子どもたち。このクラスメイトでのお歌のご披露は最初で最後です。ご存じの通り、青森へとお引越されるお友達をこの夏休み中に送り出すことになっています。4月から4ヶ月の間、毎日一緒に過ごして・遊んで・お祈りして・お昼を食べて・歌って・お話を聴いて...数えきれない経験を共にし、一緒に成長しました。卒園まで一緒に歩んで行きたいな、成長を見守らせていただきたかったな。そんな寂しさはもちろんありますが、今月の主題「祈りあう」が心に響きます。毎日一緒にお祈りしてきた、共に過ごすことをゆるされた子どもたちとの繋がり。毎日毎朝「優しい天の神様、昨日の夜も私たちを御守りくださいましてありがとうございます。今日も新しい朝をお与えくださいましてありがとうございます。」からはじまりお祈りする時、大好きな大切なお友達もシンガポールで、青森で、神様に夜の間守られて新しい朝を迎えている。そして、そのお友達のことを心に覚えて「祈りあう」時、私たちは心で繋がっているということ、共に神様に愛されているということをしっかりと心に留めていたいと思います。

『夏休み』です。猛暑日や真夏日、熱中症警戒アラート、ゲリラ豪雨...気を付けなければいけないことが沢山ありますが、まずは早寝・早起き・朝ご飯、と言われる基本的な生活習慣・生活リズムを確保することが子どもたちを守る一番大切なことですね。プールのチェック表を拝見し思いの外睡眠時間が短いことが気になりました。排便も朝にされていないことが多いです。今一度、厳しい夏を健康に楽しく乗り切る為にも、意識的に過ごしていただきたいと思います。

最後になりましたが、この1学期の間、様々なところでのご理解とご協力を賜りましたことに改めまして心より御礼申し上げます。至らない点多々あったかと思いますが、また2学期に元気な子どもたちと再会出来ますことを楽しみにしております。幼稚園の間の宿題のない夏休み！！遊ぶことが宿題かな！？どうぞご家族で素敵な夏休みをお過ごしくださいませ。

皆様の健康と安全を心よりお祈りいたしております。

＜赤組＞

晴れ間が続いて「もう夏が来たんだな～」と思っていましたが、黒い雲と同時に大粒の雨がポツポツ、夕立の日もありました。晴れた日には子どもは登園するなり「今日はプール！？」と期待を込めて聞いてくれます。水を張っているのを見て「プールあるのかな！やった～」と大喜び。1学期の間にたくさん入ることができて良かったです。

蝉の声と共に夏の訪れを感じますね。幼稚園でも夏の始まりを告げる、1学期最後の行事「夏のお楽しみ会」を制限なしで皆様をお招きして実施することができました。ご家族の方々には、お忙しい中、暑い中お越し下さいましてありがとうございました。赤組さんになって初めての日頃の頑張りをお家の方々に披露する行事です。歌は子どもたちが選曲した3曲でした。リズムカルな曲が好みの赤組さん。繰り返し練習し、それぞれの歌詞の意味を教えてもらってイメージしながら楽しく堂々と歌えるようになりました。また、リズムバンドでは今までやってもらっていた楽器の準備や後片付けも担いました。また、花組さんの小さい先生になって各楽器の持ち方や鳴らし方などを優しく教えてあげ、困っている花組さんがいると助けてくれていました。「小さい先生」に心を弾ませながらもとても頼もしい姿を見せた赤組さんです。今年はpre-preクラスのお友達もお客様として参加。スキップを通して、成長発達の段階を見ていただけたでしょうか。8月から1年間会えなくなるお友達。寂しいけれど京都でも英国でも神様のお守りをお祈りしながら、「大きくなったね」と1年後の再会を楽しみにしたいと思います。

さて、今日で1学期が終わりです。あっという間の3ヶ月でしたね。4月にはピカピカの赤色バッチを胸につけていただき進級を喜びました。5月には毎日のように園庭に飛び出してたくさんの生き物と出会ったりおままごとで思い切り遊びました。6月には手先・頭をよく使って頑張った「七夕制作」にも取り組みました。7月は大きいプールで緑組さんと一緒に水遊び！初めてのことがたくさんで緊張したりドキドキしたりする毎日でしたが「やりたい！」「できる！」といつも意欲的な赤組さんで大きく成長しました。2学期も子どもたちの気持ちを大切に、私も一緒にたくさんの事を経験していきたいと思います。

最後になりましたが、1学期間、お家の方々には色々のご指導・ご協力を頂きましてありがとうございました。無事に1学期を終えられたこと、厚く御礼申し上げます。明日からの夏休みもどうぞ健康に気をつけ、神様へのお祈りの心も忘れず、楽しくお過ごしください。また2学期に元気いっぱいのみんなに会えるのを楽しみにしています。

<緑組>

新聞の見出しに「いよいよ3年分の高揚感（祇園祭の前祭・宵山）」とありました。正に同じ気持ちで挑んだ「夏のお楽しみ会」。子どもたち以上に気負っていたのは先生たちの方かもしれません。なんとか繋いだ2年間の子どもたちと保護者の方の想いも乗せて、制限なしで開催できたこと、皆様のご理解あつてのことと、感謝の気持ちでいっぱいです。何より嬉しかったのは子どもたちへの大きな拍手です。プレプレちゃんのお名前準備の返事に拍手してくださる、あたたかな気持ち。もうこの時点で、私の気持ちは震えていました。「あったかい」とは、こういうことなのだと。一人一人を大切に思ってくださるお家の方々がここに集まってくださっていることが本当に嬉しかったです。久々に感じるお家の方との一体感…。子どもたちを真ん中に、その成長を認め合えるこの空間が本当に大切に思えました。おそらく、緑組の子どもたちも同じように程よい緊張感を覚えながら、自分たちの力を精一杯発揮し心地良い達成感と充実感を得たのではないのでしょうか？進級して早4ヶ月。リラックスしながらも、8人それぞれが自分の責任を果たし、友達と協力し合いながら育ち合う姿はとても凛々しく、その成長が嬉しく感じられました。明日から42日間の夏季休暇に入ります。しばらく通常保育はお休み。とはいえ、1学期間子どもたちが努力してきたこと（例えば、生活習慣/運動/学習 etc）を継続しながら2学期に繋がるように、就学前の楽しい夏をお過ごしください。そして全員そろって宿泊保育で会えることを楽しみにしています。

保護者のみなさまにおかれましては、1学期の間、幼稚園の教育/保育にご理解くださり、園行事等にご協力くださいましたことを改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。どうぞご家族のみなさまも、暑い夏、体調を崩されませんようにご自愛くださいませ。 Have a nice summer vacation!!